

平成 2 7 年度事業計画書

社会福祉法人 悠人会

平成27年度 事業計画書

目 次

I.	平成27年度 ベルファミリア 事業計画	……P. 2
II.	平成27年度 サンガーデン府中 事業計画	……P. 7
III.	平成27年度 ベルアルト 事業計画	……P. 10
IV.	平成27年度 ベルライブ 事業計画	……P. 13
V.	平成27年度 ベルアルプ 事業計画	……P. 16
VI.	平成27年度 ベルキンダー 事業計画	……P. 18
VII.	平成27年度 ベルキンダー安井 事業計画	……P. 20
VIII.	平成27年度 中第3地域包括支援センター 事業計画	……P. 21
IX.	平成27年度 介護相談センター 事業計画	……P. 24

A I F 理念

使命

愛の医療と福祉の実現

会是

地域と職員と共に栄えるチーム

Yu・ki・to・do・ku

ゆき届いたサービス

私たちの基本方針

【私たちのチャレンジ】

チームとして、そしてパートナーとしてチャレンジします。

健康の維持や改善を願うみなさまと、それをお手伝いする私たちは、その目的を共有するチームです。その目的達成のために、お互いがパートナーとして情熱をかたむけ、ベストを尽くすこと、最良の方法であると確信しています。

3つのベストにチャレンジします。

私たちは、最適の治療、最善の心配り、最高のパートナーシップの実現を目指しています。

ベストケア ベストケア ベストパートナーシップ

【私たちのお約束】

1. 私たちは、みなさまに「良質なケアを平等に提供」いたします。※1
2. 私たちは、みなさまに「十分なお説明」をいたします。※2
3. 私たちは、みなさまに「納得された上でのケア」を実施いたします。※3
4. 私たちは、みなさまに「十分な情報」を提供いたします。※4
5. 私たちは、みなさまの「人としての尊厳」を守ります。
6. 私たちは、みなさまの「プライバシーや秘密」を守ります。

※1: 各人の状態に応じて検討された「個別ケアプランに基づく個別ケア」を実施いたします。

※2: ケア全般において十分にご説明し、同意を得た上でのケアを実施いたします。

※3: ケアにおいては、時としてサービスの選択肢があります。ご自身あるいはご家族が納得し、決定されるために、セカンドオピニオン(他の専門家の意見)を知ることも良い方法です。当施設では「納得された上でのケア」を実施いたします。

※4: ケアの状況・情報等さらに詳しくお知りになりたい場合、お気軽におたずね下さい。

平成27年度 社会福祉法人悠人会 各施設別事業計画

I. 平成27年度 ベルファミリア 事業計画

1. 基本方針

この4月より施行される制度改正および報酬改定は、介護事業経営と介護サービス提供のありかたに大きな変革を求めている。

ベルファミリアは、時代や地域ニーズの変化に対応した、より柔軟で開かれた施設運営を積極的に展開する。

また、来年にも施行が予定される社会福祉法人改革の動向を把握した上で、社会福祉施設として、社会貢献事業への参画などの本来的な機能と役割を果たしていく。

その上で、パートナーを主体とした終末までのゆき届いたサービスと、認知症高齢者および重度障害高齢者への個別援助の質を高め、地域住民からもパートナーからも信頼され親しまれる特別養護老人ホームとして社会的な存在価値を高めていく。

本年は、地域包括ケアにおける地域介護の中心拠点としての基盤整備に努める重要な1年である。

2. 重点活動事項

(1) 社会福祉法人としての機能と役割の遂行

- ア) 地域交流の促進に向けて、施設の会場や設備を地域交流の場として開放する。
- イ) 地域住民を対象とした健康教室・手芸教室・介護予防（ロコモ体操・シニアヨガ・マシン使用）を施設内および各地域の会館などで積極的に開催する。
- ウ) 社会福祉法に基づく低所得入居者への利用者負担軽減事業を継続する。
- エ) コミュニティソーシャルワーカーを中心に地域包括ケアおよび地域支援事業の推進に努める。
- オ) 中第3地域包括支援センターへの支援と協働により、緊急対応や接近困難事例にも積極的に関与する。
- カ) 災害時における高齢者の避難拠点事業としての役割を担う。
- キ) 社会貢献事業に関する年間計画を策定し、活動内容を学会などで

報告する。

ク) 以上の活動を通して、地域におけるセーフティネットの機能を果たし社会福祉施設としての先駆的な役割を遂行する。

(2) 特別養護老人ホームとしてのケアの質の強化

ア) 看取り介護の充実

- ・家族との信頼関係を築き、入居者個別の価値観を尊重しながら、その人らしい人生の歩みを終末まで支援する。
- ・P D C Aサイクルに基づき、適切な記録と家族への丁寧な説明を行うとともに、看取りパスの作成による標準化をすすめる。
- ・看取り後の最終ケアとして、家族参加のエンゼルケアを実施する。
- ・デスカンファレンスによる振り返りと職員へのグリーフケアの充実に努める。

イ) 認知症ケアの充実

- ・「24 時間シート」「らしきシート」を実践し、人間の尊厳や個別ニーズに適した生活支援を充実させる。
- ・認知症予防の一環として公文式学習療法を実施する。
- ・なじみのある居室環境を設定し、安心して暮らせる生活空間の整備に努める。

ウ) 地域に融合する活動の実施

- ・自治会・老人会などが主催する地域行事に参加する。
- ・入居者の外出支援などで住み慣れた地域との繋がりを大切にする。
- ・地域住民代表で構成される第3者委員からの客観的意見を施設サービスに反映させる。

エ) 入居者・家族との信頼関係の醸成

- ・家族会の開催や個別面談などにより、制度改正や報酬改定などの丁寧な説明に努める。特に、介護保険法の改正に伴い、本年8月から自己負担(1割負担から2割負担へ)が増加する入居者家族には、個別の事情に配慮しながら不安の軽減に努める。
- ・入居者・家族参加型のサービス担当者会議を継続し、信頼と安心が提供できる機能を向上させる。
- ・不満や不安を受容・共感できる技法の訓練により、苦情の事前防止と組織的な苦情解決機能を高める。

オ) 重度化に対応した多職種協働による予防と健康管理の充実

- ・フィジカルアセスメント能力を高め、重度化防止の看護に努める。

- ・吸引・胃瘻処置・経口維持・栄養改善に努め、口腔ケアおよび褥瘡感染症防止を推進する。
- ・残存機能を活用し、個別ニーズに適応した生活リハビリを実践する。

(3) キャリアパスに基づく計画的かつ質の高い教育の実践

- ア) キャリアアップファイルの有効活用により、職員毎の課題を分析・評価し、職員のステップアップに繋げていく。
- イ) 施設外研修への受講を支援し、専門知識と技術の向上をはかる。
- ウ) 関連学会において研究活動や活動成果などを積極的に発表する。
- エ) 認知症認定看護師の養成を目標とする。
- オ) 認知症実践者・リーダー研修の受講を推奨する。
- カ) 介護福祉士の吸引などにおける知識・技術の向上をはかる。

(4) 安定的・発展的な事業継続に向けた取り組みの強化

ア) 入居部門

- ・入居利用率 97.5%以上、要介護度 4・5 の割合 70%以上、認知症日常生活自立度の判定基準Ⅲ以上の割合 65%以上、入院率 2%未満とする。
- ・退居後の迅速入居の促進に努め、空床期間の短縮による利用率の向上をはかる。
- ・専門チームによる口腔ケア体制を構築し、経口維持加算Ⅰ・Ⅱの取得をめざす。
- ・消耗品の在庫管理の適正化や契約内容の見直しによるコスト削減に努める。(全部門共通事項)
- ・正確な予算管理の実施により、安定した経営体制を構築する。(全部門共通事項)
- ・ワークライフバランスの実現に向けて、時間外労働時間の削減をはかり、効率的で効果的な業務管理と職員の健康管理に努める。(全部門共通事項)

イ) 短期入所部門

- ・15名以上/日の利用を最低目標とする。
- ・ケアプランセンターおよび地域包括支援センターからの緊急受け入れをすすめ、地域に貢献しながら緊急短期入所受入加算の取得に努める。

- ・利用登録者の担当医や訪問看護S Tとの日常的な情報共有と緊急時の対応などの取り決めを行い、医療連携強化加算の取得に向けた制を整備する。
- ・機能訓練指導員による定期的な自宅訪問などによる生活機能向上への支援を強化し、個別機能訓練加算を取得する。
- ・重度要介護者が定期的かつ不定期に短期入所を利用できる仕組みを構築し、レスパイト支援による在宅生活限界点の底上げをはかる。

3. 居宅サービスの具体的目標

(1) ベルファミリアデイサービスセンター

- ア) 65名以上／日の利用を最低目標として維持しながら、重度要介護の構成比率を高めていく。
- イ) 法人内通所リハ事業所との連携システムを構築し、通所リハにおける社会参加支援加算取得後の円滑な受け入れをすすめる。
- ウ) 重度要介護者に対するレスパイト機能を高めるため、延長サービスの充実に努める。
- エ) 新たに創設された認知症加算を4月より取得するとともに、年度内に中重度ケア体制加算の取得をめざす。
さらに、機能訓練指導員による利用登録者自宅への定期訪問やアセスメント機能を強化し、個別機能訓練加算Ⅱを取得する。
- オ) 要支援者を対象とする介護予防日常生活支援総合事業への移行準備を開始する。同時に、要介護者と要支援者へのサービスの棲み分けを検討する。

(2) ベルファミリアヘルパーステーション

- ア) 利用者数180名／月、訪問件数1,750件以上／月を目標とし、特定事業所加算Ⅰ取得を継続する。
- イ) サービス提供責任者の養成を強化し、質の向上に努める。
- ウ) 法人内通所リハ事業所との連携システムを構築し、通所リハでの生活行為向上リハビリテーション加算の取得に協力しながら、訪問介護での生活機能向上連携加算の取得をめざす。
- エ) 要支援者を対象とする介護予防日常生活支援総合事業への移行準備を開始する。特に、介護報酬規定外の生活支援サービスの創設

Ⅱ. 平成27年度 サンガーデン府中 事業計画

1. 基本方針

介護老人保健施設として、強いチームワークのもと、大規模多機能施設の優位性を生かし、リハビリテーション機能を中核とした安心・安全で上質なトータルケアサービスを提供する。

活動テーマは「関西地区でトップクラスとなり、地域から目標とされる老人保健施設をめざす」であり、地域に信頼される質の高いサービスを提供することを目標とする。

2. 重点活動事項

(1) 介護老人保健施設として質の向上

ア) 在宅復帰の支援を行い、パートナーの意思と人格を尊重して、パートナーの立場に立った寄り添うケアを提供する。

- ・パートナーの持てる力を引き出せるケアサービスの充実。
- ・パートナーおよび家族との信頼関係の構築に努める。

イ) 人材確保と育成

- ・看護、介護のキャリアパスに則り教育の強化、研修を支援する。
- ・教育機関との連携をとり積極的に実習を受け入れる。
- ・研修会、学会へ積極的に発表参加する。
- ・各種資格取得を推進する。

ウ) 看取り機能の質の向上

- ・パートナーの望む最期を迎えられる施設をめざす。

エ) 認知症ケアに積極的に取り組む

- ・家族交流会の定期開催（年2回）。

オ) 全老健主催の現地研修事業の開催

- ・専門実技修得コースの3講座を開講する。

カ) 安全管理体制の充実

- ・リスクの把握、管理を行ない重大事故の発生を軽減する。
- ・事故・ハットヒヤリ報告に対する対策を検討し実施。
- ・法令遵守の徹底。

キ) 満足度調査の実施

- ・現状を把握し、改善に努める。

ク) 職員の健康管理の強化（腰痛予防）

(2) 地域に根ざした施設運営

- ア) パートナーのニーズに応える
 - ・通所リハビリテーションセンターの拡充。
 - ・積極的な半日利用者の受け入れ。
 - ・短時間利用者に対応する送迎体制の構築。
- イ) 行政等主催の会議、研修会への参加
 - ・厚生労働省推進事業への参加。
- ウ) 地域へ向けてのイベントを開催し、自治会や老人会等との積極的な交流をはかる。
- エ) 法人内外の居宅介護支援事業所、病院、診療所との連携強化。
- オ) 入所、通所利用ニーズに応えるための用地取得の推進。

(3) 施設経営の安定化

- ア) 入所(短期入所含む)
 - ・利用率 95% (平均 114 人/日) 以上を維持する。
 - ・在宅復帰率 60%以上を維持する。
- イ) 通所リハビリテーション
 - ・利用パートナー数 平均 90 人/日以上をめざす。
 - ・パートナーとの関わり (担当者のコミュニケーションの強化)。
 - ・新規パートナーへの迅速な対応 (見学、体験、面接など)。
- ウ) 連携の強化
 - ・多職種協働によるチーム介護の充実。
 - ・法人内外を問わずに各事業所と積極的に交流する。
 - ・人材を有効活用するための定期的積極的な配置異動。
- エ) 各種加算項目の取得
 - ・取得要件の確実な実施。
 - ・介護報酬改定後も積極的な収益対策を行う。
- オ) コスト節減への取り組み強化
 - ・リース契約、委託契約など、契約内容の見直しおよび消耗品など
の見直しを行う。

3. 各居宅サービスの具体的目標

(1) サンガーデンヘルパーステーションの施策

- ア) 特定事業所加算 I の算定要件の維持に努める。

Ⅲ. 平成27年度 ベルアルト 事業計画

1. 基本方針

地域包括ケアシステムにおいて、老健施設の果たす役割は益々重要視される時代となる。ベルアルトは老健の使命を明確にするとともに、地域・行政・関連機関との連携を強化し、パートナーに質の高いケアを提供する。複合型施設としての強みを活かし、在宅復帰を積極的に行い、地域包括ケアに寄与する。

2. 重点活動事項

(1) 通所リハビリテーション機能の充実

- ア) リハビリテーションマネジメント加算Ⅱを取得する。
- イ) 短期集中個別リハビリテーションを積極的に実施する。
- ウ) ADL、IADL、社会参加などの生活行為向上に焦点を当てたリハビリテーションを実施する。
- エ) 通所パートナーに訪問指導を行い、在宅生活の状況を把握する。リハビリテーションの目標を明確にし、継続した在宅支援を実施する。
- オ) 個別に食事・入浴・排泄などのケアを行い、残存機能を引き出しながら、維持・向上に努める。
- カ) パートナー個々に応じたクラブ・趣味活動、生涯学習教室を行い、満足度の向上をはかる。
- キ) 短時間利用などパートナーのニーズに対応したサービスを提供する。
- ク) 「栄養改善・口腔機能向上」などを行い、他の施設にはないメニューを拡大する。
- ケ) 入所部門と通所部門の連携を強化し、パートナーの急変に備えるなど緊急時における対応を充実する。

(2) 在宅復帰強化型老健施設としての機能

- ア) 「在宅復帰率・ベッド回転率・一定以上の重度者受け入れ」の3要件を堅持する。
- イ) 在宅生活を切れ目なく支援するために、短期入所・通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを充実させる。
- ウ) 在宅復帰が円滑にできるように、入所前後訪問、退所前後訪問を積極的

に実施する。

- エ) 医療機関・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターなどとの連携をより密にする。支援相談体制を強化し、介護サービス利用の調整を円滑に行う。
- オ) 食事提供体制を充実し、栄養指導を積極的に行う。

(3) 介護サービスの質向上

- ア) ケアワーカー、看護師、医師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士による密な多職種連携で、チーム介護に取り組む。
- イ) リスクマネジメントの充実。危険予知能力を高め、事故防止の徹底をはかる。
- ウ) 認知症介護実践者・リーダー研修の受講、介護支援専門員・認知症ケア専門士などの資格取得を推進する。
- エ) 認知症パートナーの状況を理解し、落ち着ける空間、居心地の良い環境を整備することにより、安心した入所生活を送れるように支援する。
- オ) 排泄・口腔ケアの向上をはかる。
- カ) パートナーの意思を尊重しながら、レクリエーション・行事への参加を促進し、内容の充実をはかる。個別ケアを推進し、生活の質の向上に努める。
- キ) NDソフトを積極的に利用し、パートナー一人ひとりに応じたケアプランを策定。課題の把握とケアの方法について職員間での周知をはかる。
- ク) 「おもてなし」の実践に取り組み、パートナー・地域から選ばれる施設をめざす。
- ケ) 家族との連絡、相談記録などを活用し、情報の共有化をはかり、トラブルを未然に防ぐ。

(4) 地域包括ケアシステムに向けた取り組み

- ア) 医療機関・地域包括支援センター・サービス付き高齢者住宅・地域住民との連携を強化。ベルタウンの存在感をアピールし、施設利用に結び付ける。
- イ) 7：1を取得している医療機関に対しアプローチを行い、新規利用者を獲得する。
- ウ) 困難事例ケースを積極的に受け入れ、各機関から信頼される施設をめざす。
- エ) 認知症サポーター養成講座の開催など、認知症の予防や支援活動、普及啓発に協力する。
- オ) 近隣小学校生徒の介護体験受け入れ、施設見学会などを定期的に開催し、

地域に開かれた施設をめざす。

(5) 経営の安定化

- ア) 通所リハビリテーション・短期入所の登録者数を増加。
- イ) 介護老人保健施設・特別養護老人ホーム、通所リハビリテーション・通所介護の一体運営による強みを活かし、パートナーの受け入れを促進する。
- ウ) 超過勤務時間を見直し、人件費の削減、職員のメンタルヘルスアップに繋げる。
- エ) 経費削減プロジェクトチームを立ち上げ、契約業者の見直し、消耗品在庫管理制度を導入し、コストの無駄を省く。
- オ) 予算と実績の把握に努め、効率的で適正な事業を運営する。

3. 重点活動目標値

(1) 施設

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
*入所	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
新規	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0

*入所は退所を含まず。

(2) 通所リハビリテーション

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
通所	53.0	53.0	54.0	54.0	52.0	52.0	53.0	54.0	53.0	53.0	53.0	54.0
新規	9.0	8.0	7.0	7.0	6.0	7.0	8.0	7.0	6.0	6.0	6.0	7.0

IV. 平成27年度 ベルライブ 事業計画

1. 基本方針

パートナーの重度化に対応したケアの質向上をはかるとともに、利用者満足度の高い介護・看護サービスを提供する。

また、社会貢献・地域貢献事業を推進し、地域の高齢者介護を支える拠点施設としてさらに地域から信頼される施設をめざす。

2. 重点活動事項

(1) 利用者満足度の高いケアの実践

ア) 認知症ケアを強化する。

- ・認知症指導者・研修修了者を中心に認知症専門知識の向上をはかる。
- ・認知症ケア加算Ⅱを維持する。
- ・そろばん教室など根拠に基づいた認知症ケアを実践する。

イ) 看取りケアの充実をはかる。

- ・多職種協働による看取りケアの充実をはかる。
- ・家族参画型看取りケアカンファレンスを推進する。
- ・看取りケアの評価・改善を行う。

ウ) 重度化に対応した安全で安心なユニットケアをめざす。

- ・事故防止対策チーム（転落転倒・誤嚥・褥瘡・感染）活動を強化する。
- ・口腔・嚥下機能を重視した口腔ケアの向上をはかる。
- ・栄養状態の維持、低栄養の予防・改善および経口維持改善を多職種協働で取り組む
- ・日々の暮らしに楽しみがあるユニットケアを実践する。
クラブ・外出・行事などアクティビティの充実をはかり、有意義な生活支援を行う。
- ・短期利用者へ「おもてなし」サービスの充実をはかる。

エ) ベルタウンの特性を活かし、ベルキンダーとの日常的な交流をはかる。

オ) 第三者評価受審の諸準備を行う。

(2) 施設職員の人材育成および人材確保と働きやすい職場環境づくり

ア) 施設職員の人材育成および人材確保

- ・介護・看護キャリアパスに基づいた人材を育成する。

- ・資格取得の推奨および外部研修により専門知識の向上をはかる
- ・積極的な関連学会（大会）の発表を推奨する。
- ・各専門学校実習生と施設見学の受け入れを強化し、優秀な職員を確保する。

イ) 働きやすい職場環境づくり

- ・職員のメンタルヘルス対策および有給休暇取得率向上など職場環境改善を推進する。

(3) 地域福祉および公益的取組の推進（社会貢献・地域貢献事業）

ア) 公益的取組の推進

- ・堺市委託事業「認知症介護実践リーダー研修事務局」の受託を継続する。
- ・「社会貢献事業」を推進し、地域の信頼を得る。
- ・地域のボランティアを積極的に受け入れる。
- ・認知症サポーター（キッズサポーター）養成講座の開催。

イ) 社会福祉法人として地域福祉の役割を推進する。

- ・出張型の介護予防活動（介護予防教室）の拡大をはかる。
- ・近隣小学校など介護体験や施設見学を行い世代間交流を推進する。

(4) 安定的な経営基盤の確立

ア) 数値目標（入居・短期）

- ・入居 平均 79.5 人／日
- ・短期 平均 13.0 人／日
- ・新規利用者（短期）の目標：6 名／月

イ) 入居の空床期間短縮と入院時の空床の有効的利用を積極的に行う。

ウ) 緊急ショートを受け入れを積極的に行い、地域の信頼強化をはかる。

エ) 経費削減プロジェクトチームにて経費の見直しを行う。

3. 居宅サービスの具体的目標

(1) ベルライブデイサービスセンター

ア) 機能別に専門性の高いサービスの提供をはかる。

- ・重度および医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れる。
- ・研修修了者により認知症ケアの充実をはかる。

- ・特色あるクラブ活動や生涯学習教室を充実させる。

イ) 通所リハとの連携およびリハビリを強化し、デイサービスへのスムーズなサービスの移行を行う。

ウ) 介護予防日常生活支援総合事業への移行準備を行う。

エ) 数値目標

- ・平均利用者目標 36名／日
- ・新規利用者の目標 7名／月

(2) ベルタウンヘルパーステーション

ア) 積極的に要介護者（身体介護）および早朝・夜間のサービスの受け入れを行う。

イ) 通所部門との連携により、適正効率的な運営を行う。

- ・生活機能向上連携加算を取得する。

ウ) 介護予防日常生活支援総合事業への移行準備を行う。

エ) 数値目標

- ・平均利用者目標 53名／月
- ・サービス提供件数 300件／月

4. 重点活動目標値

(1) ベルライブ・ベルライブデイサービスセンター (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5
短期	12.5	12.5	12.5	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	12.5	12.5	12.5	12.5
新規利用者	5	6	5	6	6	6	6	6	5	5	5	5
通所	35	36	36	36	35	36	36	37	36	34	34	35
新規利用者	6	7	7	7	6	7	7	7	7	6	6	6

ベルタウンヘルパーステーション (単位：人／月、件／月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パートナー数	51	51	52	52	52	53	53	53	54	55	55	55
訪問回数	280	280	290	290	290	300	300	300	300	310	310	310

V. 平成27年度 ベルアルプ 事業計画

1. 基本方針

「その人らしさを大切に」「笑顔あふれる生活を」

ユニットケアの特性を活かし、パートナーの個別の価値観を尊重した生活スタイルを支援するとともに、QOL（生活の質）の向上をめざした取り組みを実践する。

その人らしさを大切にした生活、笑顔あふれる生活を実現するため、「できること」の自立支援から、「やりたいことができる」生活支援をめざす。

自己の生き方の選択を支援し、日常生活の延長にある「看取り」に積極的に取り組む。各重点項目の到達度を「見える化」する。

2. 重点活動事項

(1) QOL（生活の質）の向上をめざした取り組み

- ア) 認知症高齢者の個別ケアの実践状況を評価する。
- イ) 看取り介護の体制をPDCAサイクルにより再構築する。
- ウ) 摂食・嚥下チームによる定期的な嚥下評価および「口から食べる」ことを積極的に支援する。
- エ) ユニットケアのさらなる推進と到達度を評価する。
- オ) 福祉サービス第三者評価審査後の結果をもとに改善活動を継続する。

(2) 地域および関連機関と連携し、地域包括ケアの実現に参画

- ア) 入居者の重度化に伴い、医療機関との連携を強化する。
- イ) ベルアンサンプルで協力し、地域への「出前講座」を実施する。
- ウ) 地域包括支援センターとの連携を強化する。
- エ) 地域住民と交流できる「ベルアルプふれあい喫茶」を継続する。
- オ) 短期入居の緊急受け入れ体制およびADL・IADLの維持・向上をめざした個別機能訓練を強化する。
- カ) 介護福祉士による喀痰吸引など研修事業の効果を評価する。

(3) 職員がやりがいを感じる職場づくりへの取り組み

- ア) キャリアパスの運用の周知およびキャリアアップファイルを活用し、個々の職員のキャリアアップを支援する。
- イ) 超過勤務の分析、業務改善などにより働きやすい職場づくりをする。
- ウ) 平等に有給休暇取得ができる工夫をする。
- エ) 施設内で主体的なユニットケア活動の発表会を実施する。

(4) 経営安定化への取り組み

- ア) 入居・短期入居 稼働率 95%以上をめざす。
- イ) 入院・退居時は空床期間を推測し、短期入居利用で稼働率を確保する。
- ウ) 短期入居・デイサービスの新規登録者数拡大に努める。
- エ) 療養通所介護の創設を検討する。
- オ) 経費削減を継続する。
- カ) 介護報酬改定に柔軟に対応する。

(5) ベルアルプデイサービスセンターの活動目標

- ア) 各事業所に医療ニーズの高い利用者の受け入れ、短期入居の併用利用可能をPRし、新規登録者・利用者数の拡大に努める。
- イ) 多職種と連携し、利用者のニーズに対応した個別機能訓練を強化する。
- ウ) 認知症介護などの研修修了者を配置し、認知症高齢者ケアの質向上に努める。
- エ) 単身世帯のご利用者に「安心声かけサービス」を実施する。
- オ) 介護予防のご利用者に対する自立支援計画を再編する。
- カ) 地域ケア会議に積極的に参加できる体制づくりを整備する。

3. 重点活動目標値

1日平均利用者数 (単位:人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	77	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
短期	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
通所	29	30	31	32	32	32	32	33	33	33	33	33

VI. 平成27年度 ベルキンダー 事業計画

1. 基本方針

新制度導入に伴い、ベルキンダーの理念「愛の教育・保育の実現」のもと幼保連携型認定こども園としての機能を果たすべく、質の高い教育・保育の実践、また地域の子育てキーステーションとしての役割を担う。

2. 重点活動事項

(1) 幼保連携型認定こども園としての力が発揮できるよう、教育・保育の質向上をめざす。

ア) 3歳児～5歳児の※プロジェクト型保育の充実をはかる。

※仲間との協同活動の中で、調べ・アイデアを出し合い解決に向けて知恵と力を繋げていくプロセス。また体験を通して形成された生活概念と科学的概念とを論理的に結びつける教育・保育活動。

イ) 小学校学習指導要領と連携した教育・保育指導計画に基づく実践を行う。

ウ) 人間形成に携わる、教育・保育者としての資質を追求し専門知識・技能向上に努める。

エ) キャリアパスに基づく、人材・保育の質向上のための研修体制を整備する。

(2) 地域子育て支援の拠点として役割を確立する。

ア) 休日の一時預かり保育を開始する。

未就園児のかかりつけ園として、地域の子育て家庭支援の充実をはかる。

イ) 教育・保育内容を掲載したパンフレットの作成を行い、園の理念を地域に周知・浸透させ、選ばれる認定こども園をめざす。

(3) 経営の安定化

ア) 定員140名(2号認定・3号認定)3名(1号認定)の117%
167名の園児を受け入れる。

イ) 一時保育 450人/年、休日保育 270人/年(前年比0.5%増)

の受け入れと、丁寧な保育・保護者支援を行うことで、利用の固定化をはかる。

(4) 連携

- ア) 就学を見通し、堺市スタートカリキュラムに基づき、小学校との連携をはかる。
- イ) 保健センター・子育て支援センターや各自治体と連携をはかり認定こども園としての社会的役割を果たす。

VII. 平成27年度 ベルキンダー安井 事業計画

1. 基本方針

幼保連携型認定こども園に移行したことで、法人の理念である「愛の保育の実現」に「教育」を加え「子どもたちにとっての最善の利益を守る」を追求していく。保育教諭として高い専門性を発揮し、子ども達が生き生きと笑顔で過ごし、自己肯定感を育める楽しい保育を展開する。

2. 重点活動事項

(1) 定員の119%の園児を受け入れ、安定経営をめざす。

- ア) 選ばれる園となるために、質の高い教育・保育を提供する。
- イ) また、その内容をPRし、発信していく。

(2) 人材育成を行い、保育の質を高める。

- ア) 必要な研修を受けるため、職員の体制を整え、研修内容や講師についても十分に考慮する。また、学びは共有する。
- イ) 地域の子育てキーステーションとしての役割を果たす。

(3) エコ意識を高め、創意工夫をして無駄を省く。

- ア) 要・不要を見極め、意味のある節約をする。

(4) 職員間の和を大切にし、連携を取りやすい関係を築く。

(5) 何事も計画的に行い、PDCAサイクルを確立する。

3. 具体的な方策

(1) 町内の掲示板やホームページを活用してPRしていく。

(2) 研修の事前チェックを十分に行い、適材適所の受講を勧める。

(3) それぞれの長所を活かしてアイデアを出し合い、お互いを高めあう。

VIII. 平成27年度 中第3地域包括支援センター 事業計画

1. 基本方針

堺市中区高齢者関係機関との連携を強化するとともに、地域住民から信頼される地域支援事業を親切かつ丁寧に展開していく。また、地域から求められる地域活動を実践しながら、地域課題を事前に発見できるように努める。

2. 重点活動事項

- (1) 中区高齢者関係機関との連携を強化する。
- (2) 地域から信頼される地域支援事業を実践する。
- (3) 地域から求められる地域活動を実践する。

3. 重点活動目標値

- (1) 指定介護予防支援業務

ア. 包括受託分

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	100	100	100	100	100	100
新規契約	1	1	1	1	1	1
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	100	100	100	100	100	100
新規契約	1	1	1	1	1	1

イ. 事業所委託分

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	315	315	315	315	315	315
新規契約	10	10	10	10	10	10
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	315	315	315	315	315	315
新規契約	10	10	10	10	10	10

(2) 高齢者総合相談 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	15	15	15	15	15	15
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	20	20	20	20	20	20

(3) 介護予防事業 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
相談件数	7	7	7	7	7	7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
相談件数	7	7	7	7	7	7

4. 具体的目標

(1) 中区安心ネットワークの参加と活動

- ア) 年間計画の企画と立案への意見
- イ) 区民フェスタへの参加と協働
- ウ) 区ネットワーク会議への参加

(2) 各部会での活動、地域包括の関連する会議の推進と定着化

- ア) 認知症支援部会
 - ・市民、企業、学校などで認知症サポーター養成講座を開講し認知症の啓発活動を行う。
- イ) 権利擁護部会
 - ・権利擁護、成年後見制度に関する啓発活動を行う。
- ウ) ケアマネ支援部会
 - ・多職種事例検討、ケアマネ連絡会開催、主任介護支援専門員研修の企画と実施。
- エ) 中区包括看護職会
 - ・市民向けにロコモティブシンドロームの予防と啓発活動を行う。
- オ) 中区地域包括センター長連絡会
 - ・基幹型と地域型包括で共通する課題、問題点を検討する。さらに各圏域の地域課題についても情報を共有する事で、他の地域事情を相互理解できる情報交換の場とする。

(3) 地域から信頼される地域支援事業を実践する

ア) 介護予防事業

- ・堺市の介護予防事業の意向に則り市民の健康や予防の推進に繋がるよう積極的に努める。
- ・介護予防普及啓発事業の一環として、中いき(長いき)ロコモ体操を保健センター、ロコモ体操指導医と連携し普及させていく。

イ) 包括的支援事業

- ・堺市の介護予防ケアマネジメント業務に対し、堺市地域支援事業の改革に則り適切な介護予防マネジメントを実践する。
- ・包括的・継続的ケアマネジメントの実践において、居宅介護支援事業所とのネットワークを広め深める上で、普段からケアマネ連絡会や研修会などを開催し相互の顔の見える関係づくりに心がける。

ウ) 総合相談支援

- ・市民の方の相談を積極的に受けて、多機関や他制度につなぐ事でのワンストップサービス拠点の機能を果たせるよう努める。

(4) 地域から求められる地域活動を実践する

ア) 健康講座の開催

- ・介護や健康、生活に関する講座を地域活動として実施し、市民の豊かな生活に貢献できる事に努める。

イ) 地域密着型サービス運営推進会議の出席

- ・地域性を基にその種別に応じたサービス提供などを鑑み、他施設が地域に開かれるフォーマルな会議へ出席する。

ウ) 民生委員会への参加

- ・地域包括にとって地域の中で最も身近な協力機関である事に理解を示し、各校区の民生委員会へ積極的に出席する。

IX. 平成27年度 介護相談センター 事業計画

1. 基本方針

地域包括ケアシステムの実現に向け、医療と介護の多職種協働により、パートナーの気持ちに寄り添いながら、在宅支援の限界値を高めたマネジメントを実践する。

2. 重点活動事項

(1) 新規利用者の確保による安定した事業所運営

- ア) 特定事業所加算Ⅰの取得に向けて中重度の利用者増、研修受け入れ体制の整備を行う。
- イ) 特定事業所集中減算への対策を講じる。
- ウ) 基幹、地域型包括支援センターとの連携、地域の医療機関、介護施設との連携により積極的に新規利用者の確保を行う。
- エ) 業務改善、効率化の意識づけにより経費削減を行う。

(2) 介護支援専門員の資質向上と専門性を発揮するための人材育成の取り組み

- ア) 医療機関との連携強化によりスムーズな退院支援、退院後の情報共有、医療と介護の多職種協働により在宅生活の限界値を高めるマネジメント力を発揮する。
- イ) 主任介護支援専門員の構成による教育、連携、地域の各分科会活動を推進する。
- ウ) 高い医療依存度、虐待、認知症、独居、ターミナルケースなど多種多様なニーズに対応できるような個々のスキルアップと支援体制作りを行う。
- エ) 学術的視点で研究発表の取り組みを実施する。
- オ) 介護支援専門員キャリアパスの試運用を開始する。

(3) 地域連携活動の推進

- ア) 各圏域の地域包括支援センター、法人内関係機関との協働により地域住民対象の行事の企画運営を行う。
- イ) 地域ニーズの発掘と法人内関係機関との情報共有により新たなサービスの展開やサービスの提供方法を検討する。
- ウ) 地域ケア会議へ事例提供し積極的に参画する。

3. 重点活動目標値

(1) ふちゅう介護相談センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	468	469	470	471	472	473
新規契約数	12	12	12	12	12	12
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	474	475	476	477	478	480
新規契約数	12	12	12	12	12	12

(2) ベル介護相談センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	720	720	730	730	725	725
新規契約数	18	18	18	18	18	18
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	735	735	735	730	725	725
新規契約数	18	18	18	18	18	18

(3) ベルタウン介護相談センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	250	250	250	250	250	250
新規契約数	10	10	10	10	10	10
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	260	260	260	260	260	260
新規契約数	10	10	10	10	10	10

(4) ベルアンサンプル介護相談センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	255	255	255	258	258	260
新規契約数	10	10	10	10	10	10
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	260	265	265	265	265	265
新規契約数	10	10	10	10	10	10

(5) ベルシャンテ介護相談センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
給付件数	46	53	59	66	74	74
新規契約数	8	8	8	8	8	2
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
給付件数	74	74	74	74	74	74
新規契約数	2	2	2	2	2	2